



2024 進路状況

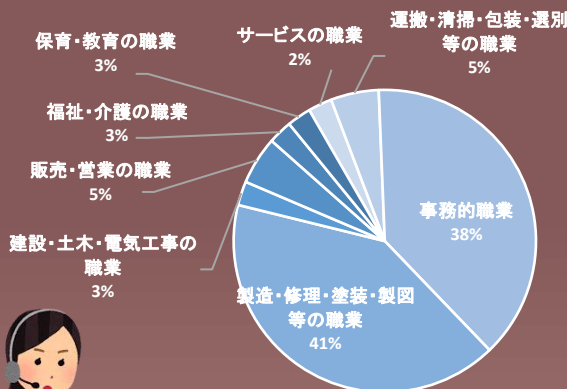


本校は伝統ある商業高校で、就職に強い学校です。しかし、近年の進学志向により、進学する生徒が半数を超え、国立大学や有名私立大学にも進学する生徒が増えています。そのため本校では、就職にも進学にも対応するために、2年生からはビジネスコースとカレッジコースのいずれかを選択し、生徒たちは各々の進路実現に向けて学習していきます。

就職編

就職者のうち約90%の生徒が自宅から通勤できる南加賀地区を就職先を選んでいきます。生まれ育った地域に就職することで、労働人口の減少を食い止めるとともに地域産業の発展につながっています。

また、今年度の8月には小松商工会議所が『ふるさとこまつ中・高・地域企業連携セミナー』と称し、地元企業数社および本校と小松工業高校が市内の中学校10校の先生方に対して、説明・情報共有・意見交換を行いました。地域を担う人材育成のために中・高・企業の連携を図るための具体的な方策などについて話し合われました。



看護学校 6%

令和5年3月卒業生

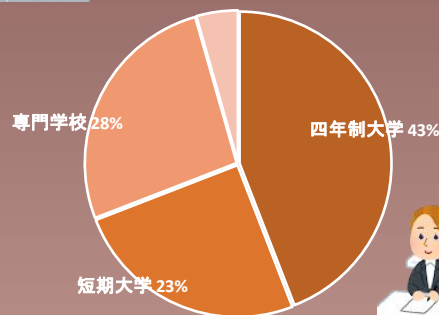
進学編

商業高校から進学するためには学校推薦型選抜を利用します。

共通テストは免除され、書類選考

・小論文・面接等で受験します。免除されるからといって決してラクというわけではなく、出願要件の評定平均値や資格取得条件をクリアするために、1年次から計画的に学習する必要があります。

こうした商業高校での学習が基礎となり、進学後には、より深くより専門的な学びにつながります。



商業高校から進学するメリット

商業高校から進学する生徒は、商業の専門科目の基礎を学んでいます。したがって、大学進学後は普通科高校卒の生徒よりスタートラインが先にあり、専門的で深い学びを早い段階から実現することができます。大学での学びの目的を明確に持つとともに、優位性を最大限に発揮できるというメリットがあります。



地元企業にお世話になっています！



長期型企業実習(R6.7.22~10日間)

専門高校が地元企業と連携して将来の専門職業人につながる人材を育成するとともに、新規高卒者の各専門分野への就職促進や、早期離職の防止に向けた意識の醸成を図ります。学校設定科目「ワーキング」2単位の授業に代替されます。



短期企業実習(R6.7.23~3日間)

昭和61年より本県で最初に始めてから、38回目を迎えました。キャリア教育の一環として地域産業の活動を理解し、既習の知識や技術を応用する能力を身につけることを目標としています。また、勤労の重要性を認識し、職業観を養うとともに豊かな人間性を培うための場としてとらえています。

